

学都いしかわグローバル人材育成プログラム ポイント読替えリスト(平成26年度開講科目)

*下記の科目は必ずしも毎年開講されるわけではないので、年度ごとに各自確認すること。

金沢大学人間社会学域

<人文学類>

ステップ	ブロック	科目名称	ポイント	形態	代表教員	年次	単位	該当理由・キーワード	備考
1	基礎	社会学概論B	3		小林大祐	2~4	2	とりわけ量的調査と呼ばれる実証研究の方法論と、前提となる社会統計学の基礎を学ぶ	
		文化人類学概説	3		西本 陽一	1~4	2	フィールドワーク(現地調査)を基本とした調査研究の方法について学ぶ	
	2	地域調査基礎演習	3		中島 弘二	2~4	2	テーマ設定、文献・基礎データ収集整理、フレームワーク構築、調査項目検討、調査計画作成、フィールドワーク実施(4泊5日)	
		地域調査基礎実習	6		中島 弘二	2~4	2	地域調査の結果に基づいて論文を執筆し、最終報告会でプレゼンテーション	ステップ2対象
		地域調査応用演習	3		中島 弘二	3,4	2	テーマ設定、文献・基礎データ収集整理、フレームワーク構築、調査項目検討、調査計画作成、フィールドワーク実施(4泊5日)	
		地域調査応用実習	6		中島 弘二	3,4	2	地域調査の結果に基づいて論文を執筆し、最終報告会でプレゼンテーション	ステップ2対象
		人文地理学実習	6		中島・宇根	2	2	人文地理学に必要な、地域調査の基本的な考えか、進め方をマスターする	
		フィールド言語学実習	3		新田 哲夫	2~4	1	沖縄県宮古島に赴き、言語調査の実践をする。そのため知識と方法を学ぶ	
		社会学調査実習	6		溝部 明男	3,4	4(通年)	障害と子育てに関する調査を行い、社会調査の企画から分析・報告書執筆までを行う	ステップ2対象
		地域社会学	3		真鍋 知子	2	2	地域社会学の諸理論を学び、身近な諸問題について経験的なデータにより理解を深める	
地域プランニング実習	6		神谷 浩夫	3,4	4(通年)	各人で研究課題を設定し、フィールドワークを設計・実施し、集られたデータを分析、発表し、レポートを作成する	ステップ2対象		
地域プランニング演習	3		神谷 浩夫	3,4	2	都市問題や過疎問題が発生する背景について考える			
3	世界経済論A、B	3		正木 誓	4	2	20世紀末、豊かたされた国と貧しいとされた国の関係性の変化を政府・企業・市民社会の視点から読み解く		

<法学類>

ステップ	ブロック	科目名称	ポイント	形態	代表教員	年次	単位	該当理由・キーワード	備考
1	2	地方自治法	3		長内 祐樹	3,4	2	地方自治制度の意義、仕組み、課題について事例を上げながら体系的に学ぶ	
		行政法第二部	3		平川 英子	3,4	4	改正行政事件訴訟法の解説に重点を置きながら行政訴訟の基礎を学ぶ	
		公共政策論	3		木村 高宏	2~4	4	公共政策の根拠を知り、考える	
		プロジェクト科目(NPOと社会)	6	集中	木村 高宏	2~4	2	NPOが市民と行政や公共的なものとの関わりをコーディネートする形、あるいはNPOがNPOをサポート、コーディネートする形について 講義と現地での体験を実施	
		プロジェクト科目(実践プランニングI、II)	6	集中	大友 慎秀	2~4	2	プランニング及びマーケティングを通じて、計画の活動の手法を学ぶ	ステップ2対象
	3	国際租税法	3		平川 英子	3,4	2	グローバルに行われる経済活動に対してローカルな課税がどのように行われ、どのような問題が生じているのか	
3	国際関係論	3	集中	勝間田 弘	3,4	2	国際関係論の基礎、世界の動きの分析		

<経済学類>

ステップ	ブロック	科目名称	ポイント	形態	代表教員	年次	単位	該当理由・キーワード	備考
1	基礎	社会学概論B	3		小林大祐	4	2	とりわけ量的調査と呼ばれる実証研究の方法論と、前提となる社会統計学の基礎を学ぶ	
		地方財政論A、B	各3		武田 公子	2~4	各2	地方財政改革の課題を抽出し、公債を中心に検討、近年の地方財政をめぐる改革動向	
	2	総合講義II	3		安嶋 是晴	1~4	2	地域運営、地域経済、地産地消、まちづくり、文化(学外講師によるレクチャー)	
	地域経済論A、B	各3		佐無田 光	2~4	各2	地域政策の形成と実行を規定する地域経済の構造を分析するための方法を学ぶ		
	経営学概論A、B	各3		白石 弘幸	2~4	各2	経営学の初学に対する入門的講義として位置づける		
	経営情報論A、B	各3		白石 弘幸	2~4	各2	企業経営に関連する現象や一連の業務プロセスを情報と知識という観点から概観		
	経営戦略論	3		白石 弘幸	2~4	2	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する		
	ビジネス・ファイナンスA、B	各3		松浦 義昭	2~4	各2	※webシラバスでの記載なし		
	会計学原理A、B	各3		竹島 貞治	2~4	各2	財務会計モデルの理論的枠組、特徴、及び問題点を理解する		
	マーケティングA、B	各3		平田 透	2~4	各2	マーケティングの理論を理解し、現実の課題に適用して解決策を考える能力を身につける		
	3	ヨーロッパ経済統合論A、B	各3		上条 勇	2~4	各2	EUの経済通貨統合の歴史と現状を取り扱う	
	3	世界経済論A、B	各3		正木 誓	4	各2	20世紀末、豊かたされた国と貧しいとされた国の関係性の変化を政府・企業・市民社会の視点から読み解く	
	3	国際公共経済論A、B	各3		吉居 史子	2~4	各2	世界で起こる様々な問題解決のための国際協力の可能性と限界を把握し、21世紀の世界秩序を展望する	

<地域創造学類>

ステップ	ブロック	科目名称	ポイント	形態	代表教員	年次	単位	該当理由・キーワード	備考
1	基礎	社会調査論	3		真鍋 知子	2	2	社会調査の基本的な知識と技法について紹介、調査の実践的なプロセスを学ぶ	
		地域プランニング論	3		各教員	1	2	地域の計画づくりのために求められる考え方や視野、テクニックについて学ぶ	
	2	地域計画論	3		神谷 浩夫	2	2	地域政策、都市政策の背景や政策の効果についての理解を深める。我が国における地域政策・都市政策の系譜	
	環境学習・市民活動	3		香坂 玲	2	2	自然再生、里山の再生、ビオトープでの環境学習、地域資源を地域ブランド、知的財産として活用する		
	環境教育論	3		香坂 玲	2	2			
	地域資源活用論	3		林 紀代美	2	2	資源管理の重要性、消費動向やマーケティング、ブランドなど地域資源への注目課題		
	資源活用・流通基礎演習	3		林 紀代美	2	2	地域資源の活用や流通・消費に関わるテーマ・素材を取上げ、分析・考察を行う		
	人口地理学	3		神谷 浩夫	2	2	人口が地域に及ぼす諸問題を検討し、地域の活力維持のために求められる施策を学ぶ		
	都市・交通論演習	3		伊藤 悟	2	2	都市や交通をテーマとして「巡検」企画、立案し実行する		
	2	地域学習論	3		浅野 秀重	2	2	地域住民が「地域社会を学ぶ」意義について考え、地域課題の解決や地域活性化の方向性を見出す	
	地域福祉論I、II	各3		横山 壽一	3	各2	地域福祉の理論と、その推進のための方法、及び地域福祉の具体的な手法		
	地域社会学	3		真鍋 知子	2	2	地域社会学の諸理論を学び、身近な諸問題について経験的なデータにより理解を深める		
	地域社会学演習	3		真鍋 知子	2	2	特定の地域の団体や住民とともに、地域課題解決のためのワークショップを実施		
	地域社会調査実習	6		真鍋 知子	3,4	2	地域コミュニティをフィールドとした社会調査を企画実施し、集られたデータを分析、発表する	ステップ2対象	
	農村地理学演習	3		吉田 国光	2	2	農村をフィールドとした地理学的研究に必要な基本知識と基本的技術を習得		
地域地理学	3		吉田 国光	2	2				
地域分析実習	6		中島・宇根	2	2	人文地理学に必要な、地域調査の基本的な考えか、進め方をマスターする			

<国際学類>

ステップ	ブロック	科目名称	ポイント	形態	代表教員	年次	単位	該当理由・キーワード	備考
1	1	東アジア国際交流史	3		古畑 徹	2~4	2	北陸と東アジアの関係史を軸に講義する。北陸の大半を石川の歴史に頼る	
		国際学入門	3		弁納 一	1~4	2	国際社会や諸地域社会の歴史、政治・社会・経済・社会問題を考える	共通教育と共通
	3	国際機構論E	3		勝間田 弘	2~4	2	国際機構の諸相、社会科学の分析視点	
		国際協力論	3		才田 春夫	2~4	2	国際協力、発展途上国、青年海外協力隊、開発教育	
		世界地誌A、B	各3		中島 弘二	2~4	各2	グローバル化が地域社会に及ぼす影響、地域社会の具体的な対応(対抗/受容)	
異文化理解	3		粕谷 雄一	2~4	2	世界のいくつかの地域の文化について学び、専門的な研究への足がかりを提供			

*上記リストは、学生の修得の便宜のために作成したもので、担当教員から掲載許可を得たものだけである。掲載されていない授業科目等でも、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の各ステップ・ブロックの趣旨に合致するものであれば、修了証申請時に申請書に掲載すれば、単位・時間数を読み替えてポイントが付与する。
 *次のものは上記リストにはなくても、()内のステップ・ブロックの該当科目・プログラムとして、確実に単位数・時間数に応じたポイント読み替えを行うものである。
 ○インターンシップ (第1ステップ第2ブロック、単位化されていれば第2ステップとしても読み替える)
 ○「地域課題研究ゼミナール」(地域貢献型プロジェクト)に採択されたゼミ・プロジェクト (第1ステップ第2ブロック及び第2ステップ)
 ○実際に地域に入ってフィールドワークを行う授業科目・プログラム (第1ステップ第2ブロック、時間・内容に応じて第2ステップとしても読み替える)
 ○短期の海外語学研修 (第1ステップ第3ブロック)
 ○卒業要件を超えた中上級レベルの外国語演習/講座 (第1ステップ第3ブロック)
 ○海外留学 (第3ステップ、留学中に地域のフィールドワーク等に参加していれば、時間に応じて第1ステップ第2ブロック及び第2ステップとしても読み替える)
 ○海外インターンシップ (第3ステップ、長期の場合は、第1ステップ第2ブロック及び第2ステップとしても読み替える)